

公表

## 事業所における自己評価総括表

○事業所名	社会福祉法人薄光会 湊ひかり学園 放課後等デイサービスクレヨン		
○保護者評価実施期間	令和8年1月26日		～ 令和8年2月20日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	18	(回答者数) 16
○従業者評価実施期間	令和8年1月26日		～ 令和8年2月20日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	11	(回答者数) 11
○事業者向け自己評価表作成日	令和8年3月16日		

## ○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	保護者、学校、関係機関との連携	連絡帳や送迎時を使用して保護者や学校と日々、情報交換をすることが出来ています。状況に応じては、電話連絡も行なっております。また、関係機関とは、必要に応じて支援者会議の場を設けるなどし、より細かな情報交換を行なっております。	今後も関係機関や保護者と関係づくりに励み、より綿密な連携を図り、些細なことでもやり取りし統一したより良い支援を行なっていけるよう取り組んでいきます。
2	部屋の広さ	放課後等デイサービスの部屋は、空間が限られていますが、中でも和室や部屋をパーティションで2つに区切るなどし、個別な対応、過敏な方が過ごしやすい環境、集中できる環境作りを行なっています。また、レクリエーションなどの時には大きな部屋の使用やその他、状況に応じて個別の部屋の使用をしています。外には、グラウンドもあり、安全にかつ伸び伸びと体を動かすことが出来る環境があります。	色々な部屋を使うことは出来ていますが、今後は、スムーズを取り入れるなど更に落ち着ける環境作りを努めていきます。
3	様々な活動	日々、携わる職員で5領域や前日までの活動内容を参考に様々な活動を取り入れることが出来るように検討して決めています。また、2つの活動の時には、利用者さんにやりたい活動を選んでいただいたり、予定していた活動以外にやりたいことがあるかなどの確認をし、利用者さんの意思決定も意識し決めています。	少しずつ地域に出ていく機会を提供しておりますが、今後は、更に増やしていけるよう努めていきます。また、活動内容がマンネリ化しないよう、新しい活動内容の検討やチャレンジする機会を提供していけるように検討していきます。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	災害時の対応の強化及び周知	保護者に対応に災害時対応のお手紙は配布しましたが、日が経つと忘れてしまうこともあるかと思えます。また、保護者を交えての避難訓練の実施は行なっておらず確認の意味でも今後は実施の検討をしていきたいと思っています。連絡も放課後等デイサービスは、電話連絡のみですが、災害時のことを考えると他の方法も検討していくべきだと思います。	定期的な確認と保護者を交えての避難訓練の実施、災害時の連絡ツールの見直し、検討をしていくべきだと思います。
2	保護者も参加出来る研修会の実施	当園は、保護者会の発足はしていないので、保護者同士が交流したり悩みの相談をする場がないと思えます。	保護者同士や支援者と保護者、関係機関と保護者などが交流出来る場として今年度、初めて研修会を実施しましたが、継続していければと思います。
3	地域交流の不足	散歩や外出、買い物やイベントへの参加など地域に出ていく機会の提供はしていますが、地域の方との交流する機会は少ないと思えます。	今後も少しずつ地域の方との交流の場を増やしていくよう努めていきます。

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名 社会福祉法人薄光会 漢ひかり学園 放課後等デイサービスクレヨン

公表日 令和8年3月23日

利用児童数 令和8年3月日 18名

回収数 16 未回答2

	チェック項目	はい	どちらとも いいない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・ 体制 整備	1 子どもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	15	1				
	2 職員の配置数は適切であると思いますか。	13	2		1		
	3 生活空間は、子どもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	16					
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	16					
適切 な 支 援 の 提 供	5 子どものことを十分に理解し、子どもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	15	1				
	6 事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	14	1		未回答1		
	7 子どものことを十分理解し、子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	16					
	8 放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	16					
	9 放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われていると思いますか。	16					
	10 事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	13	1			未回答2	
	11 放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他の子どもと活動する機会がありますか。	3	7	2		3 未回答1	地域に少しずつ出る機会を増やしていますが、直接、児童クラブ等との交流は行っていないので今後も地域に出る機会を増やしながら検討していきたいと思っています。
保 護 者 へ の 説 明 等	12 事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	13	2			未回答1	
	13 「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	14	1			未回答1	
	14 事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	11	2			2 未回答1	
	15 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの健康や発達状況について共通理解ができていると思いますか。	15				未回答1	
	16 定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	14	1			未回答1	
	17 事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	15				未回答1	
	18 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	5	7	1		2 未回答1	保護者会は設立していませんが、講習会など保護者同士が繋がる場、交流できる場の提供を少しずつ行なっていきたいと思っています。
19 子どもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	13	2			未回答1		

	20	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	15			未回答 1		
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	13	1		未回答 2		
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	14			未回答 2		
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	12	1		1 未回答 2		
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	7	3	1	3 未回答 2		災害時マニュアルの見直しを行なうと共に保護者連絡ツールの検討をしています。
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	13			1 未回答 2		
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	13	1		未回答 2		
満足度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	14			未回答 2		
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	14			未回答 2		
	29	事業所の支援に満足していますか。	13	1		未回答 2	いつも温かく寄り添っていただきありがとうございます。感謝しております。ありがとうございます。	

公表 事業所における自己評価結果

事業所名		社会福祉法人薄光会 湊ひかり学園 放課後等デイサービスクレヨン		公表日 令和8年3月23日		
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	11		部屋を仕切って分けて使用している。	
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、 職員の配置数は適切であるか。	8	3	生活介護もあるので全体の職員数が少なく放課後等デイの利用者が少ない時は、生活介護の対応したりしています。全体数が多い場合には、首段、充実した活動や支援を行なうようにしています。	キャンセル等の理由で仕方がないこともあるが多い時もあれば少ない日もある。状況に応じて臨機応変に出来れば良い。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	10	1	活動内容やスケジュールなど見える化しています。	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	10	1		
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	11		部屋を仕切ったり和室や隣の部屋などを使用しています。	
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	5	6		一部の職員だけだったかな。 →担当者や役職者に内容確認をしてもらったり、会議などに情報共有を行なうよう努めています。全体で振り返りをする機会があまりなかったので今後は、その点を意識し改善していけるように努めていきます。
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	11			
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	10	1		会議等でも課題にもあがらない。面談等の機会もない。 →上記同様、日々、個別にお話したりはしていましたが、多くの職員の意見を同時に聞く機会が少なかつたと思います。今後は、再検討してきます。
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	6	5	第三者による評価は行なっていません。	
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	8	3		
適切な支援	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	11			
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	10	1		
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	9	2		
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	9	2		
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	4	7		
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	6	5		
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	8	3	日々、職員と利用者でその日の状況に合わせ、5領域と日々の活動内容の記録を見ながら、マンネリ化しないように話し合っています。	

援 の 提 供	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	11		上記同様。 5領域も意識して内容を決めるようにしています。	
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	9	1 未回答 1	上記同様。	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	11		日々、業務前と後には、ミーティングを行なっています。日々、放課後等デイに携わる職員が変動する為、情報共有をするように努めています。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	11		上記同様。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	11		業務日誌に記録を取って共有しています。	
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	11		半期ごとにモニタリングを作成し、それに伴い支援計画の見直しも行なっています。	
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ合わせて支援を行っているか。	7	3 未回答 1		
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	11		活動の選択や自由時間の過ごし方などご自身の意思で決めることが出来る機会の提供及び自己決定することが出来るように支援しています。	
関 係 機 関 や 保 護 者 と の 連 携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	9	2	基本的には、児発管が参加しています。	
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	9	2		
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	11		下校時を使用している情報共有、状況の応じて必要性があった場合は、支援者会議の実施にて密に情報共有させていただいています。	
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	6	5		
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	10	1		
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	4	7		必要に応じて関係者会議を行ったり、地域の子ども部会には参加しています。
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	2	9		少しずつ地域に出る機会を増やしていますが、放課後児童クラブ等との交流は出来ていない為、引き続き、地域に出ていきながら検討していきたいと思えます。
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	6	5		必要に応じて関係者会議を行ったり、地域の子ども部会には参加しています。
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	11		送迎時や連絡帳などを通じて密に情報交換をしています。	
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	5	6		今年度は、1回でしたが、初めて、保護者を対象に講習会の実施をしました。今後も保護者の困りごとや不安点、利用者さんに合った様々な内容の講習会を定期的に行なっていけるよう検討しています。
	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	10	1		
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	9	2	保護者面談の際などに内容の確認をさせていただいています。	
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	10	1		
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	10	1	送迎時や状況に応じて電話対応等により対応をさせていただいています。	

保護者への説明等	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	3	8		保護者会は設立していませんが、講習会など保護者同士が繋がれる場、交流できる場の提供を少しずつ行なっていきたいと思っています。
	41	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	11			
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	9	2	広報誌の発行やホームページ、手紙等により発信しています。	
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	11			
	44	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	10	1		
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	2	9	現在は、地域の方を招待するイベントは行なっていませんが、近隣の学校の方に来ていただいて写真を撮っていただいたり、散歩や地域イベントなどで少しずつ交流する機会を増やしています。	今後も少しずつ地域の方との交流の場を設けたり引き続きInstagram等での情報発信をし地域の方に知っていただけるよう努めていきます。
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	7	4		緊急時や災害などが発生した時の対応が確立していない。
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	10	1		
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	11		契約時に確認しています。 変わりがあった場合は、都度、送迎時などにお話いただいています。	
	49	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	10	1	契約時に確認していますが、現在は、食物アレルギーがある方はいません。	
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	10	1		
	51	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	10	1		
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	11			
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	9	2	定期的に行なっています。	
54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	10	1	会議等で共有されています。		